



エグザクション・スカッド

アップデート 1.1

この文書は定期的に改訂が加えられるため、バージョン番号が割り振られている。「1.1a」など、バージョン番号の後にアルファベットが書かれている場合、その文書にはその言語独自の修正が含まれている。これは翻訳の過程で発生した問題点を修正するためのものである。この文書が更新された場合、バージョン番号が増えるとともに、新たに更新された箇所についてはアスタリスク (*)

エラッタ

このセクションはルールに修正を加えるためのものである。このエラッタで修正された文章については青色で強調されている。

キルチーム: ソウルシャックル

61ページ、アルビテス・キャストイゲイター、アビリティ『精魂一統』

文中の括弧内部分に以下を追加する：

“(この特務兵が装備する武器に対する修正も含む。ただし【防衛回数】は除く)”。

*59ページ、特殊戦略『正義の執行』

第一文の該当箇所を以下のように変更する：

“そのターニングポイントの終了時まで、味方エグザクション・スカッド  ・特務兵が”

デザイナーズ・コメンタリー

このセクションは複雑かつ例外的なルールについて、ゲームデザイナーがその定義を明確化するためのものだ。

キルチーム:ソウルシャックル

Q:『罪は自ずから暴かれる』と『まばゆいオーラ』の信仰の奇蹟(ノヴィシエイト)はどちらが優先される?

A:前者だ。

Q:アビリティ『精神一統』を使った場合、味方キャストイゲイター・特務兵の与えるダメージは修正を無視することができる?
例えば、特殊戦略『変容した肉体』の恩恵を受けているレギオナリー・特務兵を、装備した苦痛の棍棒で攻撃した場合、満点となる4ダメージを与えることができる?

A:できる。

*ケイオス・カルト・特務兵が逮捕されたあとで別の特務兵に変異した場合、その特務兵は逮捕されたままである?

A:その通りだ。